

9日 木曜

ヨハネ

3:10 イエスは答えられた。「あなたはイスラエルの教師なのに、そのことが分からないのですか。」

3:11 まことに、まことに、あなたに言います。わたしたちは知っていることを話し、見たことを証しているのに、あなたがたはわたしたちの証しを受け入れません。

3:12 わたしはあなたがたに地上のことを話しましたが、あなたがたは信じません。それなら、天上のことを話して、どうして信じるでしょうか。

3:13 だれも天に上った者はいません。しかし、天から下って来た者、人の子は別です。

3:14 モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。

3:15 それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」

3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

3:17 神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。

3:18 御子を信じる者はさばかれない。信じない者はすでにさばかれている。神のひとり子の名を信じなかったからである。

3:19 そのさばきとは、光が世に来ているのに、自分の行いが悪いために、人々が光よりも闇を愛したことである。

3:20 悪を行う者はみな、光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光の方に来ない。



3:21 しかし、真理を行う者は、その行いが神にあってなされたことが明らかになるように、光の方に来る。

「モーセが荒野で蛇を上げた」というのは、青銅の蛇のことで、病に倒れたイスラエル人がこれを見上げると癒されたという出来事です。これはイエス様の十字架のひな型で、蛇のように呪われたものとなって木にかけられ、それを私たちが信じて仰ぎ見るときに救われるという真理を表わしたものです。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」との聖句はクリスチャンなら誰でも暗唱しておくべきでしょう。私たちの救いの確信を与える聖句です。

私のために呪われたものとなってくださった、イエス様の謙遜と苦しみを覚えて、感謝しましょう。その感謝を表わしましょう。感謝が私たちの力になります。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

